

【 埼玉県視覚障害者卓球協会からの協力依頼 】

平成25年11月12日(火)

伊奈さいたま会会長 樋口 勝彦 様
社会活度部部长 皆上 一三 様
(伊奈さいたま会 藤 彌榮子)
携帯電話 090 - 6541 - 3404

埼玉県障害者卓球協会 S T T交流大会
担当 宮澤 三夫
(048-623-3603)

埼玉県障害者卓球協会 S T T交流大会の支援ボランティア募集

いつもお世話になっています。

埼玉県障害者卓球協会では、平成25年12月1日(日曜日)に埼玉県障害者交流センターにおいて、S T T交流大会を実施することになりました。つきましては大会運営にあたってボールパーソンの支援を伊奈さいたま会にお願いしたいと思っております。

支援の人数は、5から6人を予定しています。

よろしく会員皆様にお諮りの上、ご協力をお願いします。

記

- 1 開催日時 平成25年12月1日(日曜日) 午前9時30分～16時まで
- 2 開催場所 埼玉県障害者交流センター 体育室
さいたま市浦和区大原3-10-1 TEL048-834-2222
- 3 ボランティア支援の内容
 - (1) 集合時間 平成25年12月1日(日) 午前8時30分
 - (2) 集合場所 埼玉県障害者交流センター 玄関フロアー
 - (3) ボールパーソン(選手の誘導及びボール拾い)の詳しい説明
 - (4) 支援者への昼食(弁当)の用意があります。
 - (5) 交通費の支援 各人1,000円(印鑑の持参のこと)

(以上)

【 埼玉県視覚障害者卓球協会のS T T交流会への支援協力 】

伊奈さいたま会会員の皆様へ

伊奈さいたま会会長 樋口 勝彦

いつも大変お世話になっています。

標記の件について、埼玉県視覚障害者卓球協会からS T T交流会の際に支援協力を依頼されました。つきましては伊奈さいたま会会長から会員皆様各位に支援協力のお願いがあつて、メールを皆様に発信しています。協力依頼の内容は、埼玉県視覚障害者卓球協会からの文書にあるとおりですが、時期が迫つており協力を賛同して支援協力ボランティアを行つても良いという方は、11月18日(月)までに、**総務までに直接メール返信を<ahiroshi9970@nifty.com>**をお願いします。

また、25年6月に伊奈さいたま会ではボールパーソンの講習会を実施しましたが、この講習会に出席された方には今回も是非ご協力をお願いします。また、講習を受講しない方であっても12月1日(日)当日の説明会で要領は掴めます。また、見よう見まねで十分対応できますので、参加を希望します。服装はスポーツの協力であること。さらに途中の水分補給は各人をお願いします。

さらに、出席者には、是非「伊奈さいたま会」の名札を着用して戴きます。

この結果、埼玉県視覚障害者卓球協会のS T T交流会参加者名簿は次の通りです

樋口会長、皆上部長、荒井 博様、上原志那子様、酒本英子様、佐生 健二様
藤様も、よろしくをお願いします。

いつも皆様には大変お世話になっています。

このたび、「埼玉県視覚障害者卓球協会のS T T交流会」のボランティアに参加される皆様の名簿が作成されましたのでご報告します。

当日は、25年12月1日(日)午前8時30分までに、障害者交流センター玄関フロアーまでに、伊奈さいたま会の名札と印鑑をお持ちしてご出席戴きます。よろしくをお願いします。 総務

(記事：荒井)



S T T大会ボランティアで出場した伊奈さいたま会の方々と 18 期の皆様です。

S T T大会ボランティアの内容は、すでに前に掲載した内容を参考にして戴ければよろしいのですが、会員皆様への P R のためにもう一度掲載します。

S T T大会に先立って、伊奈さいたま会では S T T大会で選手個人に対するボランティアを十分に行うための講習会が開催されました。

このボランティア(ボールパーソン)講習会に使われた資料は次の通りです。

◆ボールパーソンの役割は、誘導とボール拾いです。

招集所(1)→競技会場(2～7)→廊下あるいは招集所(8)

※（）内の番号は、下記内容の番号

- <注意> ☆動きやすい洋服・シューズでお願いします。
☆音の出るものをポケットに持たないようにする。
☆試合中は、出来るだけ卓球台や選手から離れる。

◆内容

1. 招集所に選手を迎えに行く

ア選手の名前を確認し自分の名前を名乗り、右肘や肩を持ってもらい誘導に入る。
イアイマスクなし（S T T : B）の選手については、肘や肩を持たないこともある。
ウ選手の中で男性二人の盲導犬ユウザーが会場内に盲導犬を入れます。その配置場所については主審の指示を聞いてください。

2. 競技会場まで誘導し、審判【主審】の所で試合前の点検を受ける(傍で待機する)

3. その後、それぞれのエンドに誘導し、エンドの中央（突起物）を伝え、ボールパーソンの位置につく（*選手の左斜め後ろ）

4. 落ちたボールは二つ以上持たないようにし、審判(副審)側のネット下にある籠に戻す
ア審判(主審)が、ポイントを告げ終わってから次のプレーが掛かる前の短い時間に戻す
コール⇒「ポイント〇〇(選手の名前) △対▲」→「プレー」と言うまでの間
イ主審及び副審の足元のボールは、ボールパーソンが取りに行かず審判の判断に委ねる
ウ選手の足元に落ちたボールは、「足元にボールがあります」と声をかけてから拾う
エ卓球台上、卓球台の下に入り込んだボールは触れない

5. 1ゲームが終わり次第、主審のコールを聞いてから反対側のエンドに誘導する

コール⇒「ゲームトウ〇〇(選手の名前)」 「チェンジエントしてください」と言った後
ア選手に肘を持ってもらい右方向に進み、卓球台側をボールパーソンが歩くようにする
イ最初と同じくエンドの中央(突起物)を伝え、その後ボールパーソンの定位置に戻る

6. 試合が3ゲーム、又は5ゲームに入った時、どちらかの選手が5ポイントを先取したら反対側のエンドに誘導する

7. 試合終了の審判(主審)のコールを聞いてから、籠にタオル等の忘れ物がないかを確認し、選手を会場外の廊下あるいは招集所まで誘導する。

コール⇒「ゲーム アンド マッチ トウ〇〇(選手の名前)」これで試合は終了

8. その後、招集所にて、次の試合のボールパーソンに試合が終了したことを伝え、引き継ぐ

コートは、次の通りです。

